

ハ 光 延 長 チューブ

再使用禁止

【警 告】

<使用方法>

- ・ 混注ゴム(エラストマーボール)タイプの場合は、混注操作前に必ず混注ゴムを消毒用アルコール等で消毒すること。
[汚染の可能性がある。]

【禁忌・禁止】

- ・ 再使用禁止
- ・ 造影剤等の高圧注入には使用しないこと。
[破損する可能性がある。]

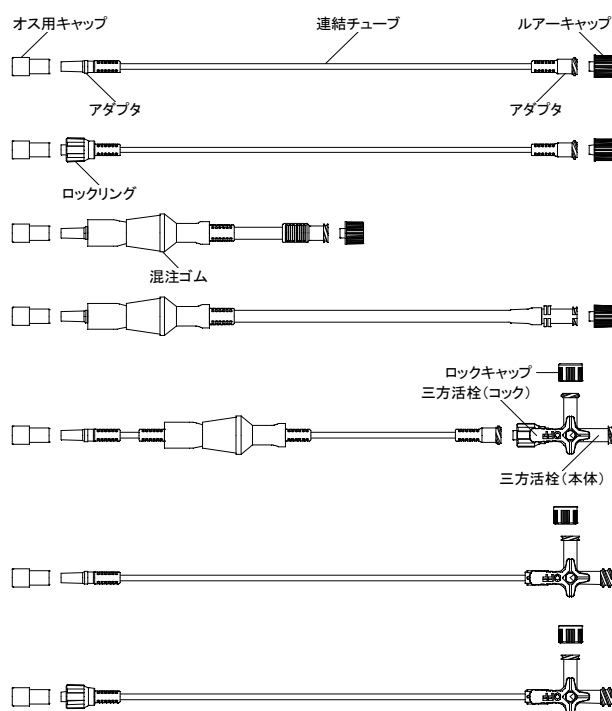
<使用方法>

- ・ 混注ゴム(エラストマーボール)タイプの場合は、混注ゴムの同じ場所に再穿刺を行わないこと。
[混注ゴムの破損、空気混入、液漏れや汚染等の可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】

本品は連結チューブの両端又は中間にアダプタ等を有し、輸液セット等に接続して、輸液などのラインを延長するチューブである。

<構造図(代表図)>



- ・ 本品はポリ塩化ビニル (可塑剤:フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)) を使用しているものもある。
- ・ 型式により構成部品が異なるので、該当する型式やサイズ等については包装表示で確認すること。

- ・ 材質は以下の通り。

部品名		材 質
連結チューブ		ポリ塩化ビニル
アダプタ		ポリ塩化ビニル ポリカーボネート ポリプロピレン
混注ゴム		イソブレンゴム
三方活栓	本体	ポリカーボネート ポリプロピレン
	コック	ポリエチレン

【使用目的、効能又は効果】

輸液などのラインを延長するために用いるチューブである。

【品目仕様等】

- ・ 気密性:20kPa (0.2kgf/cm²) の空気圧を加えたとき、漏れない。
- ・ 引張強さ:各接続部は、29.4N (3kgf) の力で引っ張ったとき、緩み及び抜けがない。

【操作方法又は使用方法等】

本品は滅菌済みであるのでそのまま直ちに使用できる。

- 1) 包装内から取り出し、輸液セット等に接続する。
- 2) 三方活栓付の場合、コックの位置が閉塞した流路となる。使用目的により、コック位置を切り替えて使用する。

注意 三方活栓 L 型の場合は、コックを 180° 以上回転させないこと。
[本体又はコックが破損して、液漏れをおこすおそれがある。]

<使用方法に関連する使用上の注意>

- ・ 包装から取り出す際や接続する際には、特に接続部への汚染に注意すること。
- ・ テーパー部に薬液を付着させないこと。
[嵌合部に緩み等が生じる可能性がある。また、薬液によってはクラック(ひび割れ)発生の原因となる可能性がある。]
- ・ 接続は確実にを行い、嵌合させる際は過度な締め付けに注意すること。
[アダプタが外れなくなる、又はアダプタが破損する可能性がある。]
- ・ 三方活栓から針を用いて混注する場合は、混注用キャップ等を用いるとともに、適切な長さの針を選択して、針先がコック部に接触しないようにすること。
[コックにピンホールが生じて、液漏れをおこすおそれがある。]

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・ 包装が破損、汚損している場合や製品に異常が認められる場合は、使用しないこと。
- ・ 使用直前に開封して使用すること。
- ・ すべての操作は無菌的に行い、操作中に異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止して、適切な処置を施すこと。
- ・ チューブが折り曲げられたり、引っ張られたりした状態で使用しないこと。
[チューブ結合部等が破損したり、外れたりする可能性がある。]
- ・ 連結チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないよう注意すること。又、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意すること。
- ・ プライミング後は直ちに薬液を投与すること。
[薬液が汚染される可能性がある。]
- ・ 使用中は本品の破損、接合部のゆるみや液漏れ等について、定期的に確認すること。

- ・混注ゴム(エラストマーボール)タイプを使用している場合は、過度な引き抜き圧力を加えないこと。
[当該部は非接着なため、接合部が外れる可能性がある。]
- ・三方活栓のcockに対し、引き抜く方向に過度な負荷を加えないこと。
[cockが外れ、液漏れをおこすおそれがある。]
- ・三方活栓がポリプロピレン製の場合は、低温下では衝撃等で破損する可能性があるため、取り扱いに注意すること。
- ・ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

＜併用注意＞

- ・あらかじめ、併用する医療機器や医薬品との適合性を確認すること。
- ・併用する医療機器や医薬品の使用方法等については、その添付文書で確認すること。
- ・ロックリング付の本品とポリ塩化ビニル製のメスコネクタを接続する場合は、締め付けに注意すること。
[外れなくなる可能性がある。]
- ・脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ (2-エチルヘキシル)が溶出するおそれがあるので注意すること。
- ・混注する場合は、混注する薬剤を考慮し、必要な場合はフラッシュを行うなどの適切な方法で行うこと。
[混注後薬剤の一部が滞留し、直ちに流れない可能性がある。]
- ・脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、ポリカードネット製の三方活栓及びアダプタのひび割れに注意すること。
[薬液により三方活栓及びアダプタにひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性がある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず、患者への重篤な影響を生じる可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する原因となる。]

＜その他の注意＞

- ・使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。
- ・本品はエチレンオキサイドガス滅菌済み。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

＜有効期間・使用の期限＞

- ・箱に記載している使用期限を参照のこと(自己認証による)。

【包 装】

25 本／箱
50 本／箱
100 本／箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

＜製造販売業者＞

株式会社八光
長野県千曲市大字磯部 1490
TEL 026-275-0121

＜製造業者＞

株式会社八光

販売窓口：東京都文京区本郷三丁目 42-6
TEL 03-5804-8500